

平成15年産粗飼料の傾向 (速報)

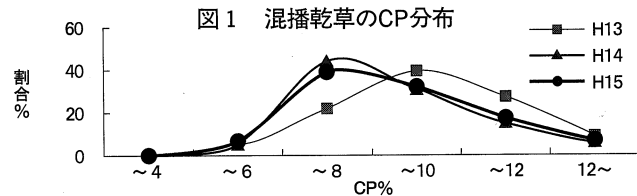
15年産粗飼料の栄養価について、分析結果より考察すると、14年度と同様に収穫までの天候(低温、干ばつ)など様々な要因が影響していると思われます。そのため、牧草サイレージ、ロールパックサイレージの1番草は、14年産栄養価と同様な傾向となっています。

●乾草(1番草)の傾向(表1、図1)

前記したように14年産と同様、粗蛋白質(CP)、総繊維(OCW)が共に13年産より低くなっており、OCWも6割程度が65~70%の間にあります。CPでは10%以下の混播乾草もよく見掛けます。

表1 乾草の傾向(乾物%)

| | 水分 | 粗蛋白質 | ADF | OCW | TDN |
|-----|------|------|------|------|------|
| H15 | 18.9 | 8.7 | 39.4 | 66.3 | 52.2 |
| H14 | 18.5 | 8.3 | 38.8 | 66.6 | 52.8 |
| H13 | 16.5 | 9.2 | 40.9 | 69.6 | 50.7 |



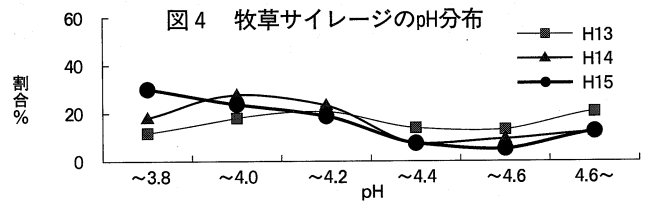
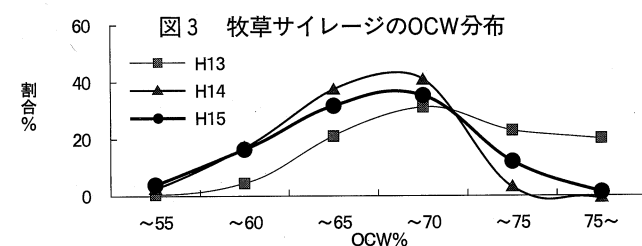
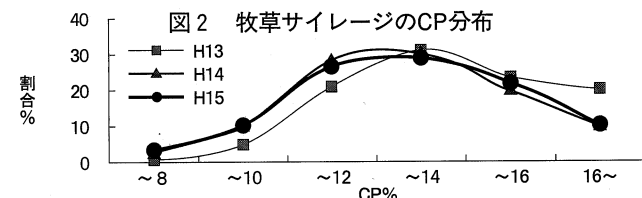
●牧草サイレージ(1番草)の傾向(表2、図2~4)

CPの平均、分布共に14年産の傾向と変わらず、低いことが分かります。OCWの平均値は13年産に近いですが、分布は14年産に似ており、70%以上のものが少ないことが分かります。

また、発酵品質は良好に推移しています。15年産は良質とされるpH4.2以下が7割を超えています。ロールパックサイレージでも同様な傾向が見られますが、その傾向は牧草サイレージより弱いです。

表2 牧草サイレージの傾向(乾物%)

| | pH | 水分 | 粗蛋白質 | ADF | OCW | TDN |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| H15 | 4.07 | 73.8 | 12.8 | 37.8 | 64.4 | 55.1 |
| H14 | 4.12 | 73.3 | 12.7 | 37.2 | 63.8 | 54.9 |
| H13 | 4.28 | 74.4 | 13.8 | 37.9 | 64.5 | 54.4 |

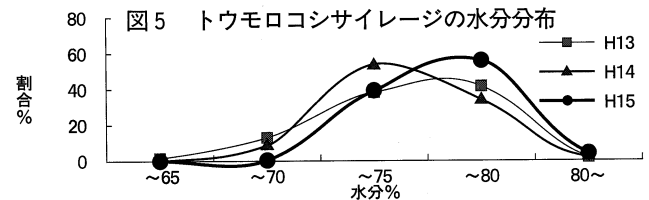


●トウモロコシサイレージの傾向(表3、図5)

15年産は冷夏の影響を受け、茎等も細く、収量がそれほどなかった感がありました。

表3 トウモロコシサイレージの傾向(乾物%)

| | pH | 水分 | 粗蛋白質 | OCW | NFC | 粗脂肪 | TDN |
|-----|------|------|------|------|------|-----|------|
| H15 | 3.80 | 75.6 | 8.9 | 52.2 | 31.2 | 3.8 | 65.9 |
| H14 | 3.86 | 73.9 | 9.0 | 47.8 | 35.0 | 4.2 | 67.9 |
| H13 | 4.00 | 73.9 | 8.9 | 50.7 | 32.3 | 3.8 | 66.2 |



栄養価の傾向は牧草とは異なり、13年産に近づいています。OCWやADFが高く、TDN、NFC、粗脂肪といったエネルギーに関わる項目が低くなっています。また、水分は75%以上が6割以上も占めております。

牧草サイレージ同様、発酵品質は良好なようです。

●まとめ

15年産の粗飼料は、昨年の天候等の要因を受け、牧草サイレージや乾草はCPが低い傾向にありますので、併給する配合飼料などのCPレベルをうまく調整することが必要となるでしょう。

トウモロコシサイレージについては、水分が高ことから、乾物摂取量が思ったより少なくなることが予想されます。また、TDN、NFCなどが低くなるため、併給する配合飼料のエネルギーレベルを調整することが必要となるでしょう。

このような傾向は見られるものの、安定して例年通りの粗飼料を調製している人も見られます。まずは「例年とは違うのか」を把握するためにも、粗飼料分析をおこない、その中身をしっかりと確認することをお奨めします。(北研 篠田)

雪印種苗株式会社

本社 004-8331 札幌市厚別区上野幌
編集発行人 城座 勝明
一条五丁目一番八号
TEL (011) 891-1591
FAX (011) 891-1574